

（3）過去に発生した主な地震（注3）

1904年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M7クラスの地震が時々発生している。1930年12月4日にはM7.5の地震が発生し、死者22人などの被害が生じた。また、2012年11月11日にはMw6.8の地震が発生し、死者26人などの被害が生じた。

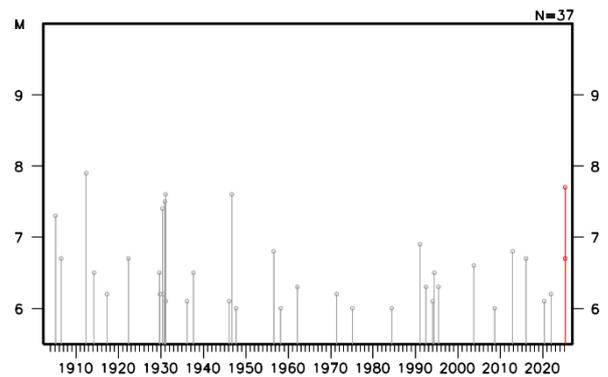
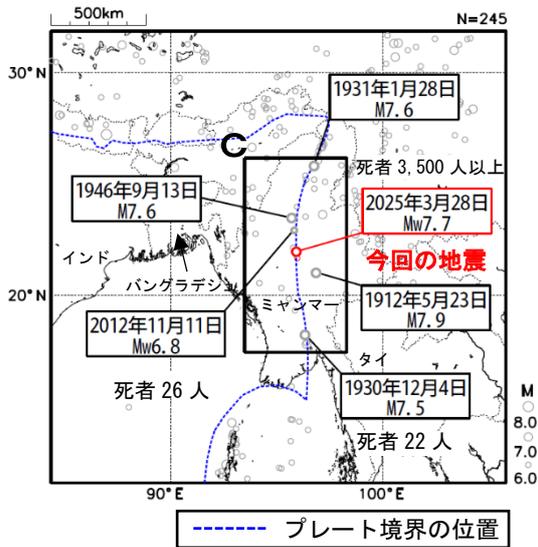


図3-2 図3-1の領域c内のM-T図

図3-1 震央分布図（1904年1月1日～2025年3月31日、深さ0～50km、 $M \geq 6.0$ ）
2025年3月の地震を赤色で表示
領域c内で死者10人以上の被害が生じた地震のみ被害状況を記載

（注3）震源要素は、2020年まではISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 11（1904-2020）、2021年以降は米国地質調査所（USGS）による（2025年4月1日現在）。ただし、吹き出しのある地震のMwは気象庁による。被害は、今回の地震はOCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所、2025年4月6日現在）、その他の地震は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置はBird（2003）*1より引用。

*1参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.